

アメリカ アグア・フリア高校 石田 さん

留学期間：R3.8～R.4.7（1年間）

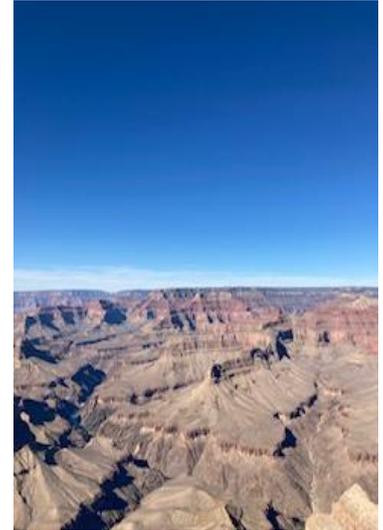
私は、7月からアメリカのアリゾナ州で高校交換留学をしています。アリゾナは、夏は40度超えの暑さでとても乾燥していて砂漠やサボテンが町のいたるところにあります。自然が多く、土地がとても広いです。ホームステイや現地の学校に行き、色々な経験をしています。初めての経験が多くて毎日刺激的な生活を送っています。

アメリカに来て5ヶ月が経ちました。初めの頃は、慣れない環境でとまどうこともいっぱいありました。最初の1、2ヶ月目は、リスニング、スピーキングがとても大変でした。言いたい事を思ったように言えない、ホストファミリーが質問していることが聞き取れない、とにかくコミュニケーションをうまく取れませんでした。そんななか、学校が始まりました。特に英語、アメリカ史、理科の授業を一回で理解できずとても大変でした。

放課後に残って先生にわからないところをきいたり、2、3時間目の間にあ

る、35分間の自習時間に、質問をしたりしています。最初は、先生に質問することに躊躇して授業中に質問できませんでした。でもアメリカの生徒はわからない事があつたらすぐに手を上げて先生に助けを求めます。アメリカでは、みんな授業に積極的に参加して、意見を述べながら授業が進められます。日本では、授業中に手を上げてその場で意見を言ったり、質問をしたりすることはほとんどありません。日本とは違う授業スタイルです。他の生徒の意見も聞いて、違った視点から考える事ができ理解が深まります。私の学校は、毎週テストでエッセイを書くのがほとんどです。私が習った事で何を思ったのか、どう考えたのかを書く問題です。アメリカの生徒は簡単に時間内に終わるテストですが、私はとても時間がかかりストレスを感じる時もありました。

しかし、先生たちのアドバイスや助けのおかげで、いつも終わらせることができている。アメリカに来てから何よりも自分の意見を求められることが多いです。あなたはと思う？何がしたい？なんでなの？と沢山の質問をされます。自分の意見を伝えることができる機会が日本にいる時よりもはるかに多いです。小さな事でも思ったことをはっきり言う、YesなのかNoなのかはっきりと意見を伝えます。人に伝えることの大切さをあらためて学びました。



グランドキャニオン



友達と学校で



写真の授業のプロジェクト



遠足

また、最近は学校のイベントや、クラブ活動、ボランティアに積極的に参加しています。ボランティアをするクラブや、お花を育てるガーデニングクラブに行きました。友達からの誘いで始めたクラブで新しい友達ができました。ボランティア活動では、学校のイベント運営を手伝ったり、校外のゴミ拾い活動に参加したり、エンジェルツリーの手伝いをしたりしました。エンジェルツリーとは、貧困の子供達にクリスマスプレゼントを渡すイベントです。私のホストマザーは、高校の先生で、このエンジェルツリーの活動の主催者でした。「誰か一人でも多くクリスマスで幸せになってほしい」との思いでこのボランティアを毎年しているそうです。自分のことだけではなく誰かのために実際に何かボランティアをしていてとても感心しました。私もプレゼントを買いました。少しだけだったけれど、クリスマスに一人でも嬉しい気持ちになるボランティア活動に貢献できて嬉しかったです。



エンジェルツリーのたくさんのプレゼント

そして、私の留学会社には、アリゾナ州の同じ留学生と月に1回交流イベントがあります。ほとんどの友達はヨーロッパ出身です。最初は、みんな英語がアメリカの子のように話せるのでとても驚きました。同じ日本出身の友達とも出会うこともできました。アメリカだけでなく、ヨーロッパや他の国の食べ物や、文化も学べていい経験ができます。

留学の約半分が終わりました。毎日がたくさんの学びのある生活でとても充実しています。日本では体験できないことが沢山できました。10ヶ月も家族や友達と離れて暮らすのは初めてで寂しくなることもあります。日本の家族や友達、アメリカで同じように生活している日本の友達やアメリカの友達、ホストファミリー、先生みんなのおかげで頑張る事ができています。このように私の目標であったアメリカ留学ができてるのは、家族やふるさと納税者の皆さん、県の皆さんの支援のおかげです。本当にありがとうございます。あと半分の留学生活も、無駄にすることなく生活したいと思います。



毎月の交流イベント



ホストファミリーと



ホストに作った日本食